

「北九州市障害者計画」

令和元年度 主な施策の実施状況

目次

【分野2】保健・医療の推進

- ①医療的ケアが必要な子どもへの支援の推進 . . . P1

【分野3】地域包括ケアシステムの構築 (地域生活支援、相談体制の充実)

- ②触法障害者への支援 . . . P2
- ③発達障害のある子どもや大人への支援 . . . P3
- ④精神障害のある人や家族同士の分かち合い . . . P4

【分野2】 保健・医療の推進

①医療的ケアが必要な子どもの支援の推進

(実施状況)

- 北九州地域医療的ケア児支援協議会等を開催。
- 医療・保健・福祉・保育・教育等の関係機関が連携し、医療的ケア児に関する支援の在り方について協議。

(現状の課題・今後の見通し)

- 医療的ケア児とその家族が抱える課題の抽出とその解決に取り組む。
- 様々な職種が連携して医療的ケア児を支えていくための「ネットワーク」づくりを進める。

【分野3】 地域包括ケアシステムの構築 (地域生活支援・相談体制の充実)

② 触法障害者への支援 (実施状況)

- 司法など様々な関係機関との協議・連携を深め、触法障害者の再犯防止と地域生活支援の体制づくり。

(現状の課題・今後の見通し)

- 引き続き、関係機関との連携を深め、触法障害者の再犯防止と地域生活支援の体制を充実。

③発達障害のある子どもや大人への支援

(実施状況)

- 当事者のライフステージの段階が変わっても特性評価が引継がれる仕組みを発達障害者支援地域協議会の中で研究。
- 発達障害者支援センター「つばさ」を中心に、啓発や研修、処遇検討会を開催。

(現状の課題・今後の見通し)

- アセスメントツール「MSPA」の有効性について、就学前児童をモデルに多職種で研究・検討。
- 今後、就学移行への伴奏型支援を通じて、ライフステージ移行時の対応を検討するとともに、学齢期以降からの気付き・支援の仕組みについても検討。

④精神障害のある人やその家族同士の分かち合い (実施状況)

- 精神障害のある方の当事者会や家族会、各種学習会や集いの場を開催し、情報交換や不安解消、仲間づくりを推進。

(現状の課題・今後の見通し)

- 今後も上記の取り組みを通じて、「分かち合い」の機会を広げ、不安の解消を図る。
- ひきこもりの状態にあり、見守りの必要な当事者が気軽に立ち寄れる「居場所」のあり方について、関係者と協議を進める。